

授業科目		対象学科・専攻	年次	期別
特別講義Ⅱ Special Lecture Ⅱ		情報メディア学科 (一般学生対象)	1年次	後期
講義・演習・実技・ 実習・実験	単位数	卒業認定	担当教員	
講義	2	選択	和西 聡	
概要				
<p>基礎学力と教養を身につけるために、前半はSPI（エスピーアイ）の問題演習を行う。特にSPIの「非言語能力」と「言語能力」について問題演習を行う。後半は、コミュニケーション能力を身につけるために面接練習を行う。</p>				
到達目標				
<p>(1) SPIの問題演習をとおして、基礎学力を身につけ応用することができる。 (2) 面接練習をとおして、表現力やコミュニケーション能力を養い応用することができる。 (3) 自己PR文等の文書作成をとおして、文書作成能力を養い応用することができる。</p>				
授業内容とすすめ方				
<ol style="list-style-type: none"> 1 SPI 基本問題演習 (値段と利益、代金の支払い) 2 SPI 基本問題演習 (速さ、電車の通過) 3 SPI 基本問題演習 (船の速さ、仕事の計算) 4 SPI 基本問題演習 (濃度の計算、年齢の計算) 5 SPI 基本問題演習 (植木の計算、鶴亀算) 6 SPI 基本問題演習 (関数とグラフ、グラフと範囲) 7 SPI 基本問題演習 (数列、確率、集合) 8 SPI 基本問題演習 (推理、命題) 9 SPI 基本問題演習 (同意語・反意語、二語の関係) 10 SPI 基本問題演習 (漢字、熟語、語彙) 11 SPI 基本問題演習 (語句の用法、長文問題) 12 SPI 理解度確認テスト、クレペリン検査について 13 面接について 14 面接練習 (自己PR文作成) 15 面接練習 (面接作法) 				
テキストおよび 参 考 文 献	プリント配布			
メ ッ セ ー ジ な ど	<p>SPIは、株式会社リクルートキャリアが作成している適性検査です。国内で最も多くの企業に使われている採用テストです。SPIの問題演習をとおして基礎学力と教養を身につけましょう。また、繰り返し面接練習することでコミュニケーション能力も身につけましょう。</p>			

ループリック評価を用いた成績評価						
到達目標	優	良	可	不可	評価手段	評価比率
(1) SPI の問題演習をと おして、基礎学力を 身につけ応用する ことができる。	応用問題ま で完璧に解 くことがで きる。	基本問題を 解くことが でき、応用 問題も少し 解ける。	基本問題の み解くこと ができる。	基本問題を 解くことが できない。	模擬SPIテス ト（知識・理 解・思考力）	60%
(2) 面接練習をとおし て、表現力やコミュ ニケーション能力 を養い応用するこ とができる。	明瞭な声 で、相手に 伝える意思 をはっきり 持っている。	明瞭な声 で、相手に 伝える意思 を持っている。	声が聞きづ らく、相手 に伝わりに くい。	声が聞きづ らく、相手 に伝える意 思が感じら れない。	模擬面接を とおしての 評価（態度・ 意欲・表現 力）	20%
(3) 自己 PR 文等の文書 作成をとおして、文 書作成能力を養い 応用することがで きる。	完璧な文書 作成能力が 身について おり、応用 することが できる。	基本的な文 書作成能力 が身につい ている。	文章を作成 することは できるが、 不十分であ る。	課題レポー トが提出で きない。	課題レポー ト提出（表現 力・思考力・ 判断力）	20%